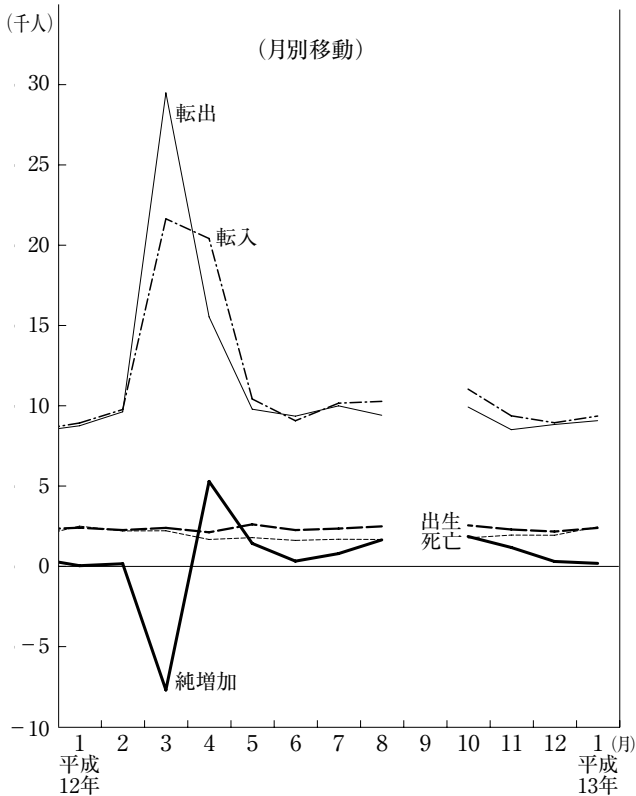


## ●今月の主な動き

# 今月の主な動き

### 人口



### ■人口（13年2月1日）

#### 1月の概況

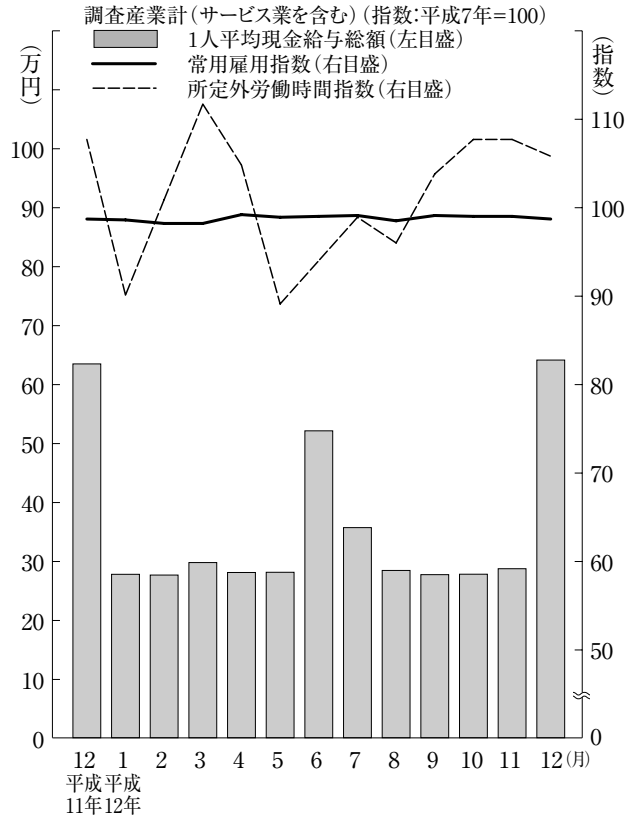
本県の人口は、1月中に220人増加し、2月1日現在で**2,989,088人**（男1,489,570人，女1,499,518人）となった。

内訳は、自然動態で、67人（出生2,428人，死亡2,495人）減少し、社会動態で、287人（転入9,395人，転出9,108人）増加した。前年同月と比べると12,988人（-0.4%）の減少である。

市町村別では、増加が9市28町村，減少が11市32町村，増減なしが3町2村である。

世帯数についても1月中に616世帯増加し，**989,644世帯**となった。

### 賃金・労働時間・雇用



### ■賃金・労働時間・雇用（12年12月）

#### 1. 平均賃金の推移

12月の現金給与総額は，調査産業計で，**640,688円**，対前年同月比1.0%増であった。現金給与総額のうち，きまって支給する給与は275,300円，対前年同月比0.6%増であった。特別に支払われた給与は，365,388円であった。

#### 2. 労働時間

12月の総実労働時間は，調査産業計で，**156.7時間**，対前年同月比0.4%減であった。総実労働時間のうち，所定内労働時間は145.9時間，対前年同月比0.3%減であった。所定外労働時間は10.8時間，対前年同月比1.8%減であった。

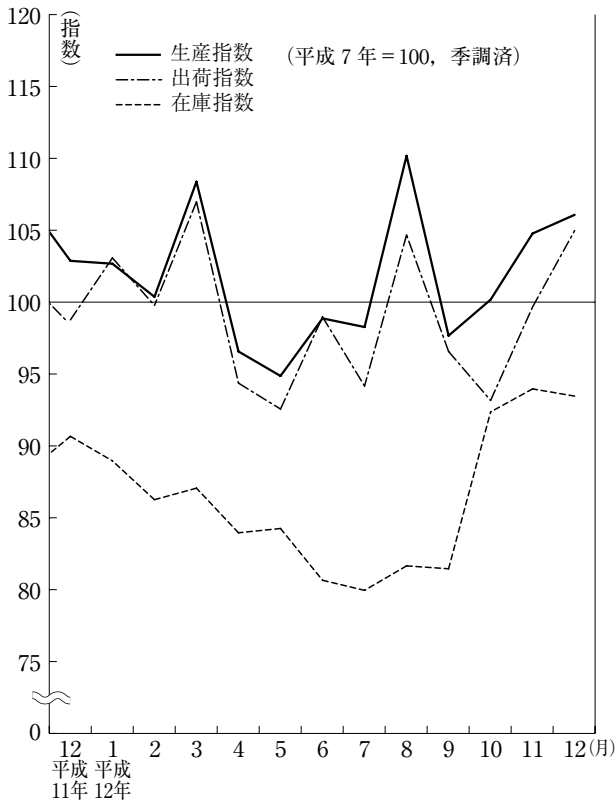
#### 3. 雇用の動き

12月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると，前年同月と同水準であった。

※この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお，事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉

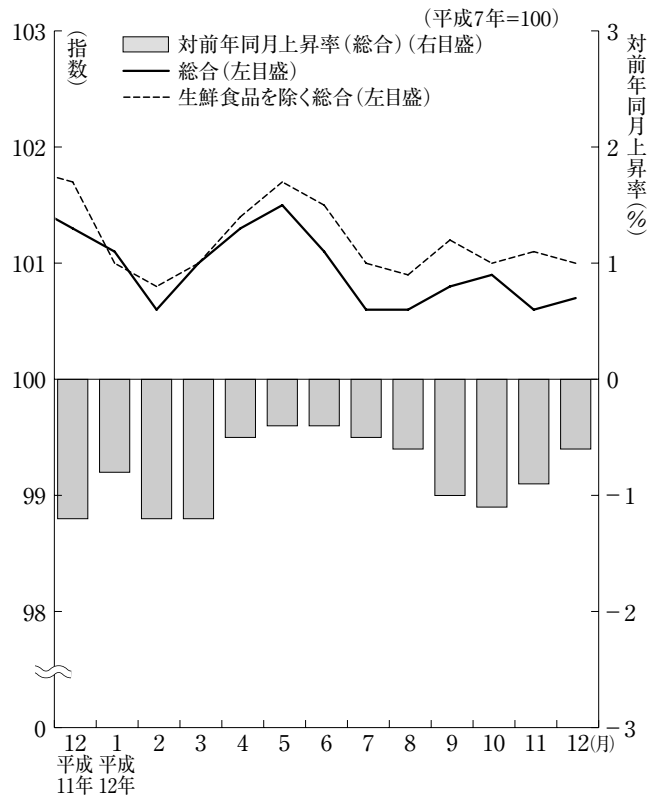


■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(12年12月)

本県における平成12年12月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が**106.0**、出荷が**104.9**、在庫が**93.4**であった。

- 1 生産の前月比は1.2%の上昇、前年同月比は3.1%の上昇であった。業種別に前月比をみると、電気機械工業、輸送機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、精密機械工業、化学工業、その他工業等が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。
- 2 出荷の前月比は5.3%の上昇、前年同月比は6.3%の上昇であった。業種別に前月比をみると、一般機械工業、プラスチック製品工業、輸送機械工業等が上昇し、精密機械工業、化学工業、非鉄金属工業等が低下した。財別にみると、資本財、鉱工業用生産財等が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。
- 3 在庫の前月比は△0.5%の低下、前年同月比は3.0%の上昇であった。業種別に前月比をみると、輸送機械工業、電気機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、鉱業、食料品・たばこ工業、精密機械工業等が低下した。財別にみると、耐久消費財が上昇し、非耐久消費財、その他用生産財等が低下した。

消費者物価指数



■消費者物価指数(12年12月)

平成12年12月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で**100.7**(平成7年=100)となり、対前月比は(+)**0.1%**上昇し、対前年同月比は(-)**0.6%**の下落となった。

今月の上がった主な項目…生鮮野菜**5.1%**  
乳卵類**1.5%**

今月の下がった主な項目…室内装備品(-)**3.6%**  
シャツ・セーター類(-)**1.0%**

生鮮食品を除く総合は**101.0**となり、対前月比は(-)**0.1%**下落し、対前年同月比も(-)**0.7%**の下落となった。

■費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.7	0.1	△0.6	保健医療	111.2	△0.1	△0.4
食料	99.8	0.3	△0.9	交通通信	97.3	0.1	△0.3
住居	101.6	△0.2	△0.1	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	101.9	0.2	0.7	教養娯楽	98.4	0.3	0.2
家具・家事用品	91.9	△0.5	△3.7	諸雑費	102.4	△0.1	0.2
被服及び履物	104.6	△0.2	△3.2	生鮮食品を除く総合	101.0	△0.1	△0.7